

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 10日

事業所名

児童デイサービスleo

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	3			全員が集まると狭く、密になるため分散させる工夫をしている。
	2	職員の配置数は適切である	4	3			他事業所と協力して送迎業務を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2	2		段差等、昇降場面では職員がつき声掛けを行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	1		会議や報告・連絡の後、いつでも・誰でも情報共有や意見交換がスムーズにできるとより参加しやすいと感じる。目標設定等、必要に感じる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	3	3		保護者からの声・意見があったときは、管理者へ報告している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	2	3		R3.5開所なので、公開していない。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1	3		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	3	1		専門的な話や実際の支援にすぐ活かせるような研修機会を増やしたい。話し合いの場を設けている。 コロナ過で難しい場合がある。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	3			複数の職員で意見を出し合って作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	3	2		アセスメントツールの使用はない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	5			職員全員でアイデアを出し合って立案している。 個別活動はチームでの立案難しい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	4			同じルーティンの感じがするため、今後改善していきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	4			長期休暇では季節感のある活動を取り入れて支援・活動している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	2			他事業所との交流等、児童の状況に合わせて検討し作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	5	1		する時・しない時があるので習慣化してほしい。 上司への報告は時折ある。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	5	1		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	4			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	1	5	1		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	4	3			時折、責任者以外の職員も参加あり。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	6		1		下校時間の変更等、誰かが分かるから良い だろうではなく、毎度確認した方がいい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	1	5	1		保護者との情報共有や相談を適宜行っている。 医療的ケア児童なし、主治医等の連絡体制なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	3	4			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	1	5	1		左記の事例があったのか、どう対応したの か知らない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	1	5	1		児童発達支援センター等と交流や連携がどのよ うに行われているのか知らない。 専門機関と連携はない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある		1	6		コロナ過の中で交流はない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している		4	3		参加しているのか分からない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	5	2			
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	1	6			
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	4	3			事業所開所前にオリエンテーションを行い実 施していた。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	5	2			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している		6	1		確認取れない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	4	3			保護者からの声は管理者に報告している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	3	4			ブログがないため、月1回児童の活動の様 子を玄関に掲示している。
	35	個人情報に十分注意している	7				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	6				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている		4	3		コロナ過のため交流はない。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	5	1		研修や避難訓練等の場面で確認することある。通達はあるが、マニュアルを見たことがないため作成していきたい。 マニュアル確認できていないものがある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	4	1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	4			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	2	1		ファイリングされている。

